

27. 働いている人の傍を通る [1] [2]

001B : オハヨー。
おはよう。

002A : アラ (B オッ) オハヨ。
あら (B おっ) おはよう。

003B : ナンダ Aサンデネガ。
なんだ Aさんじゃないか。

004A : ハイ ハイ。(B アー ズイ ブン) ナニ。
はい はい。(B あー ずい ぶん) 何。

005B : アサ アーサ ハヤグ ガンバッコダ。ナン シッタノ。
朝 朝 早く 頑張ること。何 していたの。

006A : ナーンダカ シソッパネー (B ウン) ソロソロ ウメボシ
なんだか シソの葉ね (B うん) そろそろ 梅干し

ツケッカドオモッテッサ ミー (B アー ソ) ミサ キッタノ。
漬けるかと思ってさ ×× (B あー そう) 見に 来ていたの。

007B : ホーーン。
ふーん。

008A : イーネ、イーグナッタネ。
いいね、よくなったね。

009B : フーン アメ フッタナ。(A ウン) ンダガラ イグナッタ。
うん 雨 降ったな。(A うん) それだから よくなった。

010A : アメ フッタカラ ヨクナッタ
雨 降ったから よくなった。

011B : オー チャント リッパニ デキッタッチャ、コヤ。
おー ちゃんと 立派に 出来たよ、 これは。

012A : イヤ ソーダネ。(B ンー) ンー。ソ ロソロ (B ホーデサ) ウメボシ
いや そうだね。(B うん) うん。そ ろそろ (B それでさ) 梅干し
ツケッカラ。
漬けるから。

013B : ホンデ ツケタラ アノー ウマグ ツグッテ (A ンダネ) アド オ
レ
それで[は] 漬けたら あの うまく 作って (A そうだね) 後[で] 私
モライサ クッカラ。
もらいに 来るから。

014A : エヤ ワタシノウメボシ サイコダカラ。(B アー ソッシュ)
いや 私の梅干し 最高だから。(B あー ××××)
ゴツツオースッカラ。
御馳走するから。

015B : インデ アト デーフ ヨコシエロ。ン。
それで[は] 後[で] 電話 よこせよ。 ん。

016A : ハイ。
はい。

017B : トラックデ クッカラ。
トラックで 来るから。

018A : アー。(B ウン) ア ハヤク イッテガイン。(B ア) ドコサ
あー。(B うん) あ 早く 行ってきなさい。(B あ) どこに
イグンダガ。
行くんだか。

019B : アー イズモノトリ アサハヤクワ キマッテンダ、 アソビサ イグノ。
あー いつものとおりに 朝早くは 決まっているんだ、遊びに 行くの。

020A : アー (B シー) ハイ。ン ジャ (B ンデマズネ) スズ シーウチニ
あー (B うん) はい。それ じゃ (B それじゃあね) 涼 しいうちに

アソンデゴザイ。
遊んでいらっしやい。

021B : ハイ。ンデ ガンバッセヨー。
はい。それで[は] 頑張りなさいよ。

022A : ハーイ。(B ハイ) ドーモ。
はい。(B はい) どうも。

023B : ドーモ。
どうも。

[1] 27. 働いている人の傍を通る

本会話集「15. 働いている人の傍を通る」の再録。詳細は解説 4.3 を参照。

[2] 27. 働いている人の傍を通る

外で収録した場面であるため、風の音が入っている。AとBが互いに反対方面から歩いてくるところから演じていただいた。この場面ではAとBの中間に配置した録音機の音声を採用した。